

食のみやこ熊本県

～稼げる農林畜水産業の実現～

熊本県 食料・農業・農村 基本計画

熊本県 森林・林業・木材産業 基本計画

熊本県 水産 基本計画

概要版

熊 本 県

熊本県各基本

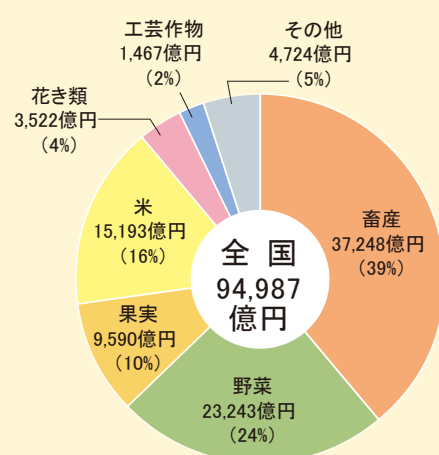
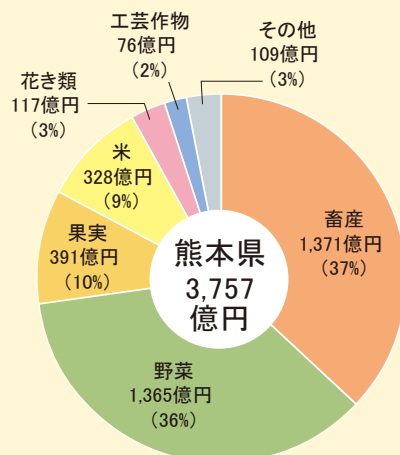
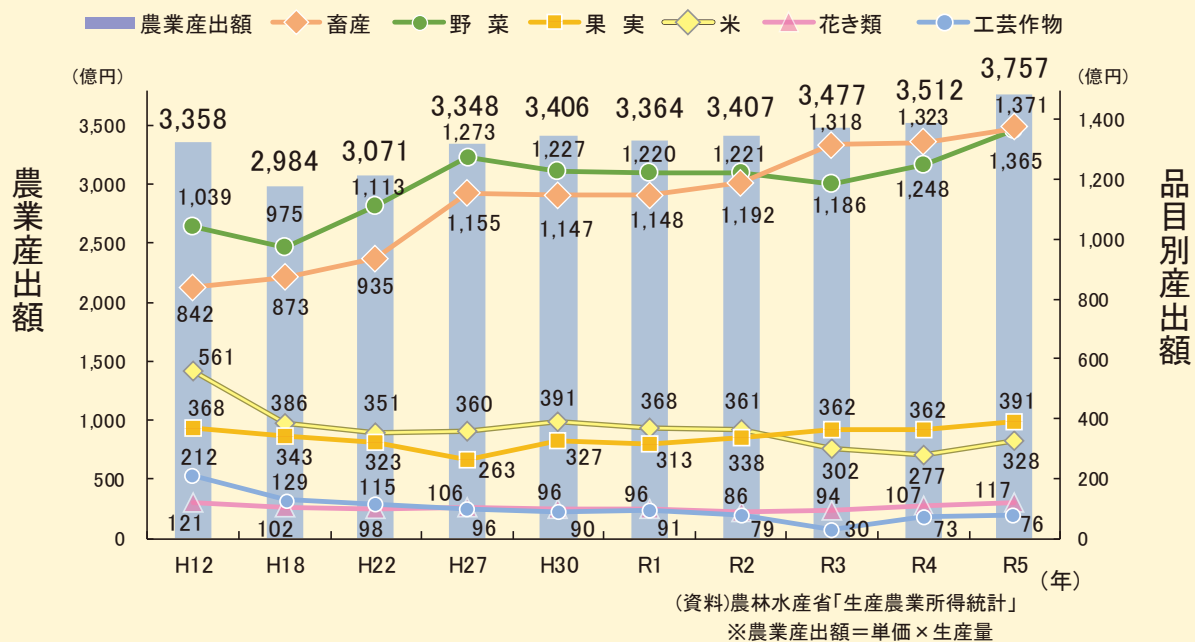
「食のみやこ熊本県」の創造に向けて

豊かな自然や食文化を活かし、親元就業をはじめとする担い手の確保・育成、高付加価値化を目指した生産から販売に至るまでの過程の磨き上げ、商工や観光業との連携などの取組みを進め、稼げる農林畜水産業を実現します。

熊本県食料・農業・農村基本計画

～「食のみやこ熊本県」の創造に向けた稼げる農畜産業の実現を目指して～

- 担い手の確保・育成と経営基盤強化
- 農畜産物の生産性向上・競争力強化
- 農畜産物の高付加価値化・販売力強化
- 環境に優しく変化に対応した生産体制の確立
- 地域資源を活用した元気で豊かな農村の実現
- 次世代へ引き継ぐ農業生産の強化と農業・農村の多面的機能の維持・発揮

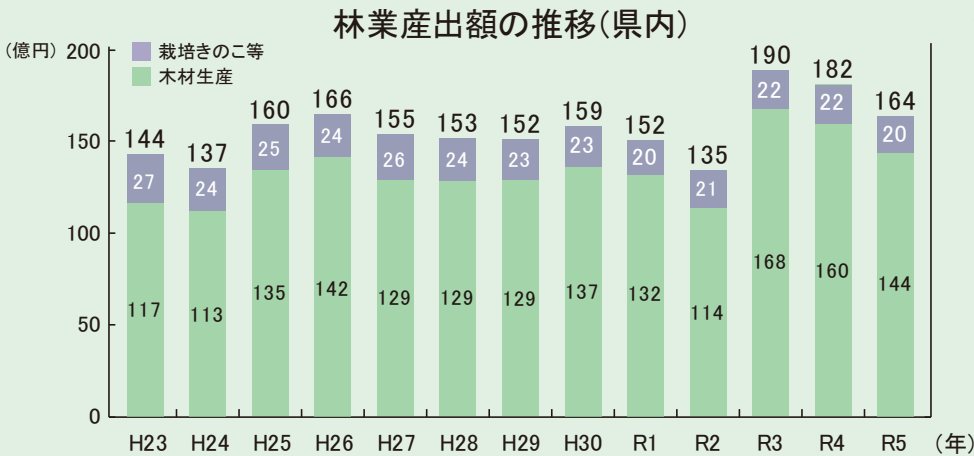


計画の概要

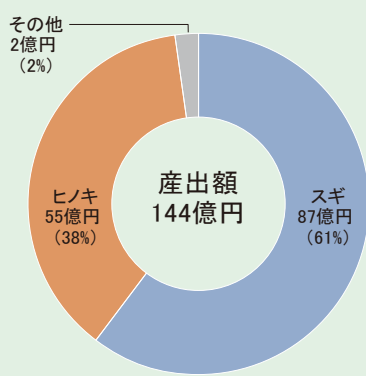
熊本県森林・林業・木材産業基本計画

～2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた
持続可能な森林経営と新たな価値の創造を目指して～

- 未来の林業を担う人材の確保・育成
- 森林資源の適正な管理及び利用
- 県産木材の利活用の最大化
- 県民の期待に応える多様で健全な森林づくり
- 新たな山村価値の創造による山村地域の維持・活性化



令和5年(2023年)木材産出額
(県内構成比)

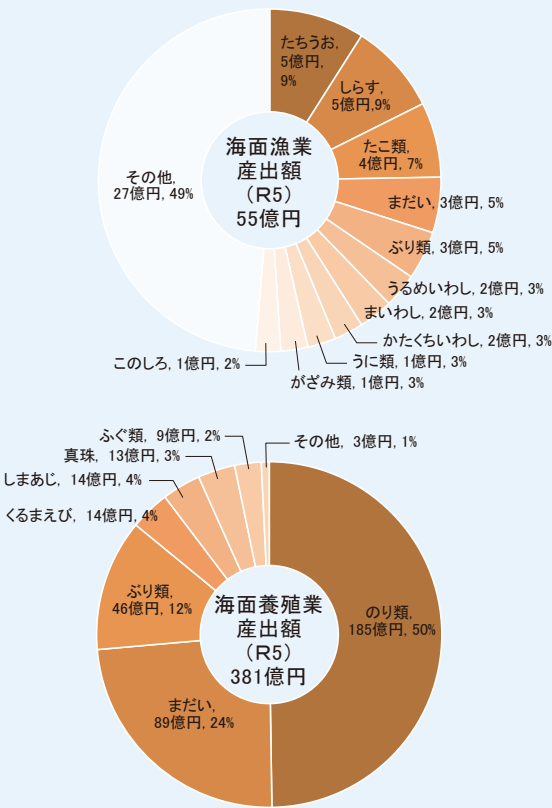


(農林水産政策課業務資料)

熊本県水産基本計画

～海洋環境の変化やリスクに強い「くまもとの水産業」の実現を目指して～

海面漁業及び海面養殖業の 産出額の内訳 (農林水産統計)

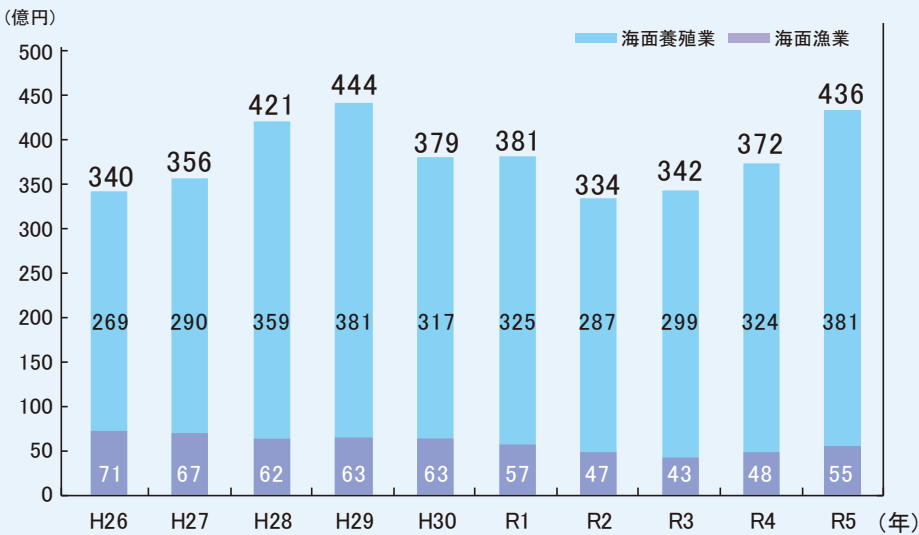


- 海洋環境の変化に対応した持続的な
漁業・養殖業の推進
- 水産業を支える人づくり
- 稼げる水産業の推進と販売体制の整備
- 海業等の推進による漁村の活性化



漁業産出額(海面漁業産出額及び海面養殖業産出額の合計)

(農林水産統計)



熊本県食料・農業・農村基本計画

～「食のみやこ熊本県」の創造に向けた稼げる農畜産業の実現を目指して～

I 持続的で活力あふれる稼げる農畜産業の実現

① 担い手の確保・育成と経営基盤強化

- ①担い手の確保・育成と経営継承の取組み拡大
- ②農業・農村を支える人材の確保・育成
- ③企業等の農業参入の促進
- ④担い手への農地の集積・集約
- ⑤農畜産業振興と半導体関連企業等の進出との両立に向けた営農継続支援
- ⑥農業団体の経営基盤・活動の強化

② 農畜産物の生産性向上・競争力強化

- ①スマート農業・DXの実装加速化による生産性向上
- ②生産力の強化に向けた新品種・新技術の開発・普及
- ③魅力ある農産物の生産体制強化
- ④持続的な畜産経営に向けた生産基盤強化・収益性向上
- ⑤強固な生産基盤の整備と保安全管理

③ 農畜産物の高付加価値化・販売力強化

- ①県産農畜産物の販売力強化と生産、加工等工程の最適化
- ②6次産業化等の推進
- ③地産地消の推進
- ④農畜産物の輸出拡大

④ 環境に優しく変化に対応した生産体制の確立

- ①地下水と土を育む農業及びみどりの食料システムの推進
- ②農業・農村の国土強靱化の推進と災害対応
- ③自然災害・価格低迷等に対応したリスク軽減対策の推進
- ④家畜伝染病、病害虫の侵入リスクを最小化する防疫対策強化

II 中山間地域等の農村活性化

① 地域資源を活用した元気で豊かな農村の実現

- ①中山間地域の特徴を活かした「しごと」「くらし」づくり
- ②都市と農村との交流による地域活力の向上

② 次世代へ引き継ぐ農業生産の強化と農業・農村の多面的機能の維持・発揮

- ①中山間地域における農地基盤整備と集積による基盤強化
- ②多面的機能の維持・発揮
- ③鳥獣被害対策とジビエの利活用の推進



[topic]食料の安全保障に係る熊本県の取組み

【これまでの取組み】

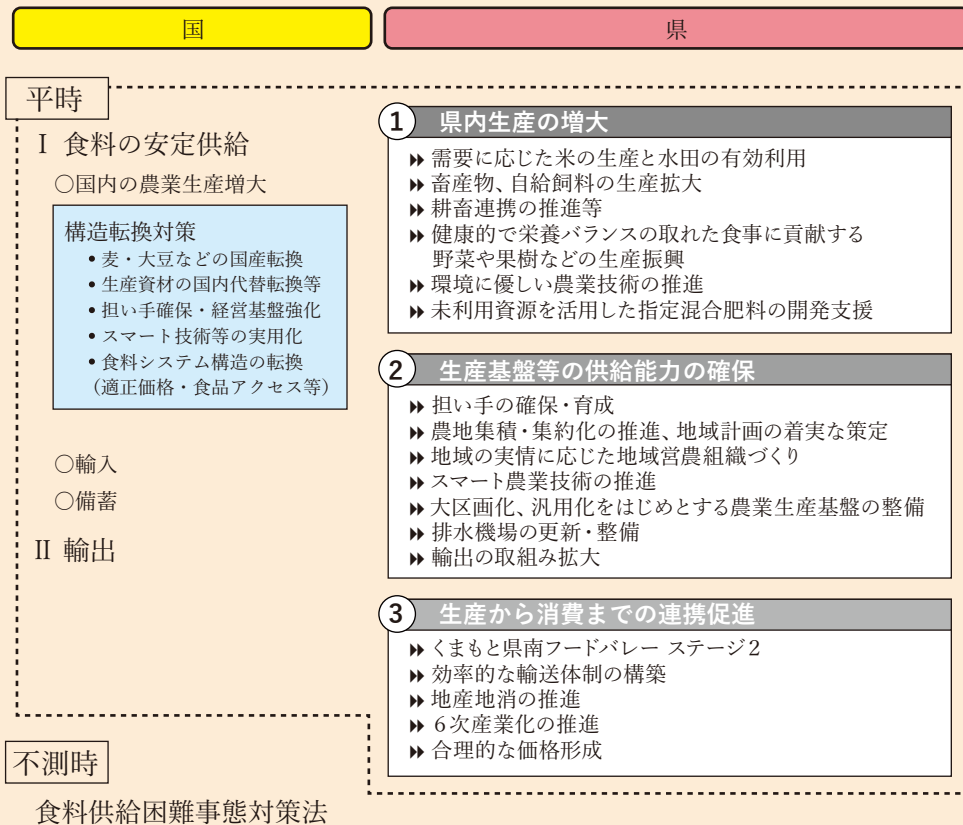
本県は、畜産、野菜、果樹、穀物等をバランスよく生産しており、全国に先駆けて農地集積や担い手の育成などに取組み、平時の生産力を強化してきました。

また、スマート農業技術の導入、農地の大区画化や水田の汎用化などの農業生産基盤の整備による生産性・収益性の高い農業の実現だけでなく、環境にやさしい農業との両立も進め、日本の食料の安全保障の一翼を担っています。

【今後の取組み】

今後も、県産農畜産物の持つポテンシャルを最大限に発揮し、「食のみやこ熊本県」の創造を図るとともに、国の目指す食料安全保障の確立に貢献していきます。

食料の安全保障の確立に向けた国と県の主な取組み



「食のみやこ熊本県」の創造に向けた取組みについて

- ・本県は、天草などの海から阿蘇等の標高の高い山間地域まで変化に富んだ地形や気候、球磨川などの一級河川や豊富な地下水を活かして、多種多様で魅力ある農林畜水産物が生産されています。
- ・また、各地域の豊かな地域資源や風土に加え、地元の人々が育んだ郷土料理・伝統食、県産酒も多く、独自の食文化が形成されています。
- ・「食のみやこ熊本県」の創造とは、このような日本の食を支えている本県の農林畜水産物と食文化が持つポテンシャルを最大限に活用し、関係者が一丸となって、「食」を通じて国内外の人々を魅了し、「稼げる農林畜水産業」の実現や「熊本の食関連産業」の発展につなげる施策です。
- ・要となる農林畜水産業の担い手確保・育成のほか、令和6年(2024年)10月に新設した「食のみやこ推進局」を中心に推進ビジョンを定め、生産・加工から販売に至るまでの過程の磨き上げなどによる高付加価値化、商工業や観光産業との連携強化に取り組み、将来にわたり持続的で活力あふれる熊本を目指します。

取組みイメージ図



熊本県森林・林業・木材産業基本計画

～2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能な森林経営と新たな価値の創造を目指して～

① 未来の林業を担う人材の確保・育成

- ①林業を支える“山の人材”づくり
- ②林業DXによる林業生産性及び安全性の向上

② 森林資源の適正な管理及び利用

- ①森林の経営管理の推進
- ②適正な伐採と循環利用のための再生林の着実な実施
- ③森林病虫獣害対策等の推進
- ④森林吸収量の確保に向けた適正な森林整備
- ⑤森林の持つ多面的機能を支える研究・技術開発と林業普及活動の展開

③ 県産木材の利活用の最大化

- ①脱炭素社会の実現に向けた木材利用拡大の推進
- ②木材産業の競争力強化
- ③県民に対する木材利用の理解醸成

④ 県民の期待に応える多様で健全な森林づくり

- ①公益的機能の発揮に向けた適正な森林管理の推進
- ②安全・安心な森林づくりの推進
- ③県民や企業参加の森林づくりの推進

⑤ 新たな山村価値の創造による山村地域の維持・活性化

- ①森林空間の総合的な利用
- ②特産林産物の生産振興

[topic] 緑の流域治水について

- ・球磨川流域を中心に、多くの尊い命を奪い、甚大な被害をもたらした、令和2年7月豪雨。
- ・熊本県では、豪雨災害の科学的・客観的な検証、住民の皆様からの御意見や有識者からの提言等を踏まえ、令和2年（2020年）11月に、球磨川流域の新たな治水の方向性として、『緑の流域治水』を推進することを表明しました。
- ・緑の流域治水は、河川の整備だけでなく、治山・砂防施設の整備や森林の整備、避難体制の強化等を進め、さらに自然環境との共生を図りながら、国、県、流域市町村、企業、住民が協働し、流域全体の総合力で安全・安心を実現していくものです。



熊本県水産基本計画

～海洋環境の変化やリスクに強い「くまもとの水産業」の実現を目指して～

① 海洋環境の変化に対応した持続的な漁業・養殖業の推進

- ①頻発化する赤潮への対応
- ②養殖成長産業化
- ③資源管理・栽培漁業の推進
- ④水面の総合利用と漁業秩序
- ⑤漁場環境の保全
- ⑥試験研究・普及活動の推進

② 水産業を支える人づくり

- ①漁村を担う人づくり
- ②意欲ある漁業者の経営安定対策の強化
- ③漁業協同組合の持続的な体制整備

③ 稼げる水産業の推進と販売体制の整備

- ①県産水産物の販売力の強化
- ②地産地消と魚食普及の推進

④ 海業等の推進による漁村の活性化

- ①浜の活力再生プランの加速化と支援
- ②安全・安心な漁港整備や海業の推進による活力ある漁村づくり



食料・農業・農村基本計画(KPI数:50)

1 担い手の確保・育成と経営基盤強化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
新規就農者数	376人/年	490人/年
新規就農者の定着率	93%	95%
認定農業者数	9,913経営体	9,700経営体
認定農業者のうち法人数	1,119法人	1,260法人
女性認定農業者数	1,457経営体	1,500経営体
外国人材の受入れ人数 (育成就労、特定技能外国人材の合計)	5,457人	7,000人
農業法人等の農業現場で働いている障がい者数 (臨時雇用含む)	184人	230人
企業の農業参入件数(累計)	262件	290件
地域計画策定地区における集約化を実施した地区数	－	50地区
自己資本比率を満たした総合農協数	13	13
2 農畜産物の生産性向上・競争力強化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
水稲栽培におけるスマート農業活用面積の割合	25%	35%
品種の開発・選定数(累計)	－	5件
革新的な生産技術の開発及び環境にやさしい農業を進める技術の開発数	30件	30件
「くまさんの輝き」作付面積	2,910ha	6,000ha
温州みかんのマルチ等栽培の普及率	32%	33%
県育成茶品種「熊本TC01」栽培面積	1ha	30ha
トマトの10a 当たり販売額	530万円/10a	550万円/10a
肉専用種繁殖雌牛頭数	41,320頭	42,100頭
県産牛肉取扱指定店数	256店	280店
飼料生産外部支援組織受託面積	3,261ha	3,300ha
基盤整備実施面積	－	430ha
更新整備又は長寿命化対策に着手した農業水利施設の 受益面積	－	2,500ha
女性理事がいる土地改良区の割合	12.1%	66%
3 農畜産物の高付加価値化・販売力強化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
首都圏ホテル、レストランにおける熊本フェア開催数	3 社 (90日)	5 社 (120日)
首都圏等における県産農畜産物連携量販店 (量販店、果実専門店、百貨店等)	15 社 (30回)	16 社 (30回)
県内JA農産物集出荷システム構築	－	1
集出荷施設等の再編・広域利用	11箇所	13箇所
6 次産業化関連販売金額・全国順位	861億円 (全国4位)	931億円 (全国3位)
くまもと県南フードバレー推進協議会等の支援による 累積商談成約件数	332件	465件
地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を 購入している人の割合	41.1%	45.0%
地産地消サイト(HP)の年間閲覧数	51,733	57,000
4 環境に優しく変化に対応した生産体制の確立		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
化学肥料の削減割合(H28 年比)	3.7%	15%
化学農業の削減割合(R 元年比)	6.2%	8%
耕地面積に占める有機農業の割合	1.2%	1.5%
更新整備又は長寿命化対策に着手した排水機場の 受益面積	－	1,500ha
情報発信に取り組む農業用ダム	0基	7基
田んぼダムの取組み面積	617ha	770ha
落葉果樹の気象災害軽減施設整備面積割合	41%	50%
認定農業者のセーフティーネット加入率	91%	95%
産業動物又は農林水産部公務員獣医師の確保人数	10人	20人
5 地域資源を活用した元気で豊かな農村の実現		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
「デジ活」中山間地域の登録数	3地区	7地区
農村RMOの形成に着手した地区数	2地区	10地区
むらづくりへの主体的な取組みを志す人材の数	204人	360人
農泊の実践事業者数	126	180
HPI「くまもとふるさと応援ねっと」へのアクセス数	28,035件	30,100件
6 次世代へ引き継ぐ農業生産の強化と農業・農村の多面的機能の維持・発揮		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
中山間地域における基盤整備実施面積	－	250ha
多面的機能支払制度の取組面積	70,347ha	71,600ha
指定棚田地域の振興に取り組む地域数	36	44
野生鳥獣による農作物被害金額	538百万円	510百万円
ジビエ処理加工施設における捕獲獣の処理頭数	3,317頭	3,600頭
参考		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合	22.6%	28.0%

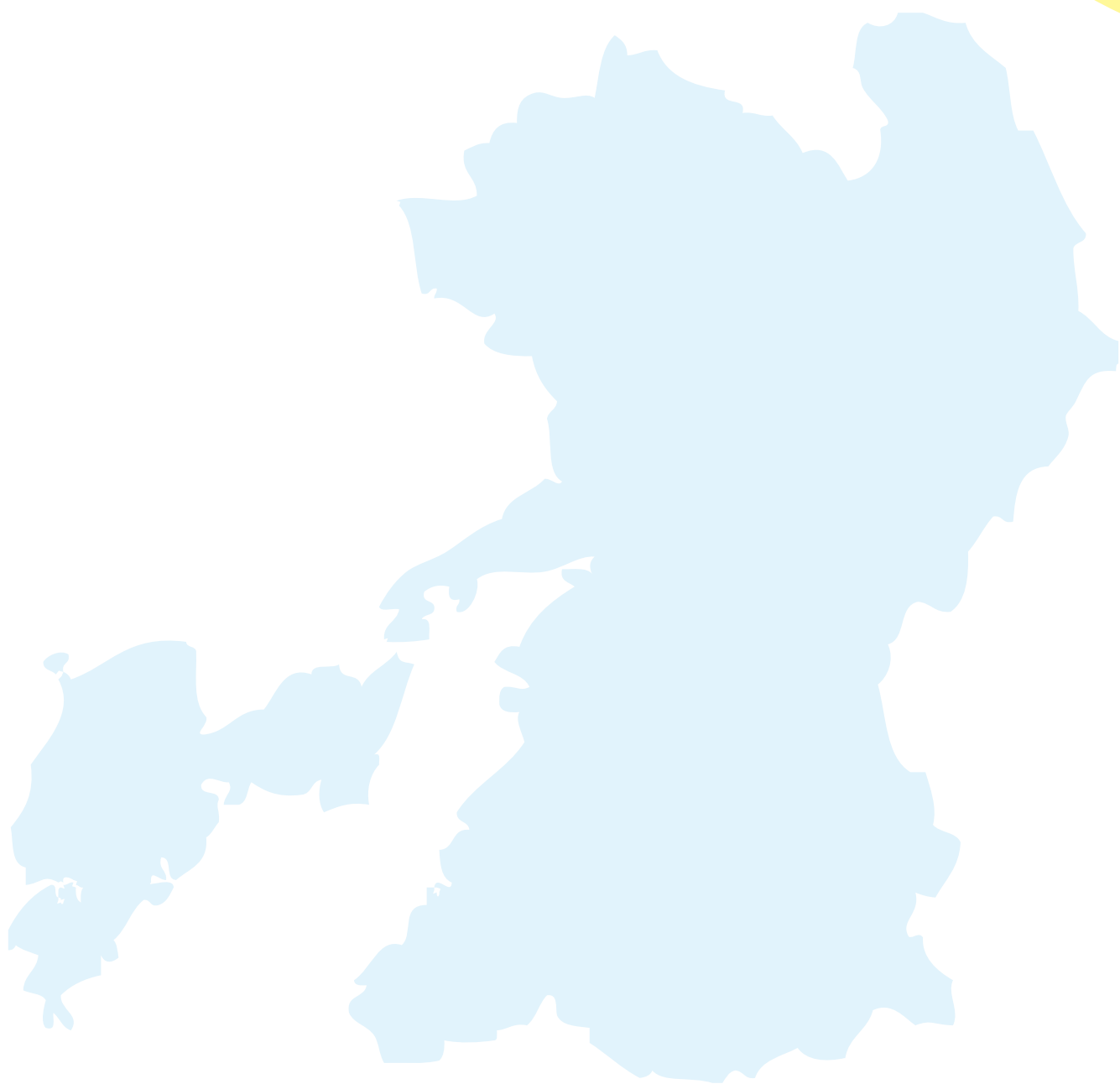
森林・林業・木材産業基本計画(KPI数:25)

1 未来の林業を担う人材の確保・育成		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
林業従事者数(認定事業体・育成経営体)	867 人	1,000 人
新規就業者数	81人	100 人
林業研究グループ会員数	425 人	425人
スマート林業技術等を導入した事業体の割合	18%	30%
高性能林業機械の所有台数	466 台	502 台
2 森林資源の適正な管理及び利用		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
経営・管理がなされている人工林面積の割合	62%	70%
林内路網密度	65.3m/ha	70.1m/ha
再造林面積	1,000ha	1,400ha
エリートツリーや花粉の少ない苗木等の生産本数	258 千本	1,010 千本
シカによる人工林被害(新規)推定面積の減少	933ha	839ha
間伐面積	4,057ha	5,200ha
森林由来のJ-クレジットプロジェクト実施者数	8 者	25 者
研究の実用化件数(計画期間累計)	－	10件
森林総合監理士の資格取得者数	63人	75人
3 県産木材の利活用の最大化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
公共施設の木造率	79%	100%
公共施設の内装木質化率	80%	100%
木質バイオマスのエネルギー利用量	607 千 t	710 千 t
乾燥(KD)材の出荷量	214 千㎡	246千㎡
JAS機械等級区分構造用製材認証工場数	5工場	10工場
4 県民の期待に応える多様で健全な森林づくり		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
山地災害危険地区の治山事業着手率	61.2%	65.0%
地球温暖化防止のために森林づくり活動に参加する企業等数	14 社	20 社
里山林整備等に取り組むボランティア等の団体数	174 団体	182 団体
5 新たな山村価値の創造による山村地域の維持・活性化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
森林サービス産業創出に取り組む地域数	1地域	6 地域
乾しいたけ生産量	186 t	186 t
竹材生産量	132 千束	150 千束

水産基本計画(KPI数:13)

1 海洋環境の変化に対応した持続的な漁業・養殖業の推進		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
令和6年度以降、赤潮対策として、養殖密度の低減対策や 漁場移転等を行った養殖業者の割合	－	100%
1経営体当たりのノリ養殖産出額	44百万円	44百万円
スマート養殖技術を導入した事業者数	6 業者	12 業者
あさり漁獲量	129t	400t
熊本県水産研究推進委員会等の評価による研究成果数	4	16
2 水産業を支える人づくり		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
新規漁業就業者数	28人	28人
漁業共済の加入率	93.8%	95.0%
3 稼げる水産業の推進と販売体制の整備		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
県産水産物の総輸出額	29.2億円	31.3億円
地産地消協力店のうち鮮魚販売店数	108店舗	119店舗
4 海業等の推進による漁村の活性化		
指標名	基準年 (R5)	目標年 (R9)
浜の活力再生プラン所得目標達成率	50%	55%
水産物供給基盤機能保全事業基本計画策定の漁港数	2漁港	15漁港
漁港主要施設の耐震化整備延長	709m	1,183m
高潮浸水想定区域・津波災害警戒区域の指定率	－	100%





【各計画の本文はこちらから】

熊本県公式ホームページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/71/>



発行者：熊本県

所 属：農林水産政策課

発行年度：令和7年度（2025年度）